

伊達松風
 題字 松浦常雄
 第 69 号
 令和4年8月20日
 発行者
 福島県公立学校
 退職校長会伊達支部長
 古 宮 睦 男

歓迎の言葉



伊達支部長 古宮 睦男

新しい仲間を迎え、令和四年度の活動を開始しました。耳にしたくないニュースが多い昨今、七人も仲間が増えることは本会にとり大変嬉しいことですし、新戦力に大いに期待したいと思います。

自然災害、コロナウイルス、ウクライナ戦争、元総理の殺害、経験したことがない状況が続いています。こんな事態が続くと改めて気づく事があります。国連安保理やWHOの無力さ、本医療の脆弱さ等々。先人たちも様々な困難に出会い、その都度改善点を見つけ出し乗り越えてきたのでしょうか。本会も三年連続、紙上総会という異例な形で運営してきました。コロナが収まるまで、社会が安定するまでとばかり考えず、今でき

ることは何かを考え、実行する時です。みんなでアイデアを出し合い、活動していきましょう。

本号より題字を国見方部の松浦常雄様にお願ひ致しました。お忙しい中、ありがとうございます。

新入会員の挨拶



地元の子どもたちと 桑折方部 緑上 隆

今年度四月より、桑折町の児童館で職務に当たっております。児童館は、地域における子どもたちのための拠点であり、子どもたち等に開放されている場所ですが、放課後児童預かりがメインです。七月現在で、常時預かり児童が、一〜五年生九十二名在籍しており、大変にぎやかです。着任当初は、学校にいる子どもの姿と児童館で過ごす子どもの姿の違いに戸惑いましたが、毎日、子どもたちと活

動しながら、子どもたちが安心感を持ち、笑顔で過ごせる場になるよう日々努めております。



感謝と恩返し 桑折方部 高野 孝男

最後の一年は、「これで教員生活最後の〇〇」という熱い思いで毎日を送っていました。退職した四月は、元氣一杯の子供たちやおいしい給食があった学校現場の当たり前が無くなり、寂しい思いもありました。しかし、最高責任者から解放された自分もいて、気持ちの整理が着きつつあります。小学校教員として「全力で」取り組んだ時間は、「宝物」として脳裏に深く刻まれています。現在は、大学で今までの感謝と恩返しのお気持ちで、未来の教師を目指す学生に「全力で」向き合っています。



激動する世界・日本 桑折方部 大木 修

この三月に伊達崎小学校の勤務を最後に退職しました。皆様には大変お世話になります。何卒よろしくお願ひいたします。四月からは、桑折町教育委員会

教育文化課指導主事として、これまでと変わりなく、一日七時間四十五分週五日働いております。

ところで、今般の物価高騰や社会不安はウクライナ戦争の影響だけでなく、日本の経済政策にも原因があると考えます。一人の国民として、客観的に多角的な視点から本質をとらえて今後の方向性を見出ししていきたいと思ひます。



学校に感謝 伊達方部 木村 圭吾

現在、伊達市生涯学習課にお世話になっていて、生涯学習の支援に取り組んでいます。伊達市では交流館などを中心に様々な生涯学習の活動が行われています。そのため講師の依頼やコーディネートなどを行っています。また、伊達市の小学五年生が対象となる通学合宿体験活動事業にも携わっています。先日、子どもたちと一緒に宿泊をして楽しい時間を過ごしました。改めて学校現場にいられたことは幸せなことだったと実感しました。今後とも健幸都市伊達市の実現に向けて微力ながら尽力したいと考えております。



生涯学習指導員になりました
保原北方部 佐々木 誠一郎

三月末に伊達市立大田小学校を退職し、四月より伊達市教育委員会生涯学習課勤務となりました。

市の施策として「地域づくり」

「人づくり」を更に推進するために、今年度から生涯学習指導員が各総合支所に配置されました。現在、月館総合支所にフルタイムで勤めております。「月館成人講座」を担当し、月一回学習会を開催しています。年配の方が多いですが、学ぶ意欲が高く、何事にも挑戦しようとする気持ちに溢れています。私も微力ながら月館地域の為に誠心誠意、尽力したいと思います。



皆様に支えられて
保原南方部 高見 良典

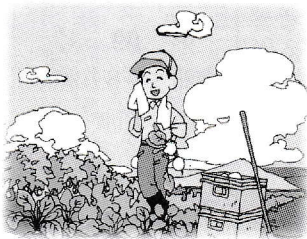
伊達支部の先輩の先生方には、これまで、たくさん温かいご指導や励ましのお言葉を賜り、お蔭様で、無事、定年退職を迎えることができました。今、心より感謝申し上げます。今の自分は、ささやかではあります。この教員人感で満たされており、この教員人

生の中で出会った先生方、子供たち、保護者や地域の方々に対して、感謝の気持ちでいっぱいです。四月から、伊達市の生涯学習指導員として梁川総合支所に勤務しております。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



新米スタート
霊山方部 岡崎 秀一

三月末で伊達中学校を退職しました。学校現場から離れ、週三回伊達市適応指導教室に勤務しています。それ以外の時間は主に農業に精を出しています。稲作は十年目になりますが、畑はあまりやっていなかったので、今年がスタートです。きゅうり、ピーマン、なす、オクラ、かぼちゃ、ゴーヤ、ジャガイモ、ネギなど、手当たり次第に栽培を始めました。それぞれに手のかけ方があり、なかなか思うようには進みません。退職者としても農業従事者としても、新米スタートです。



クラブだより

伊達旅行クラブ
今秋の旅で
笑顔を取り戻したい

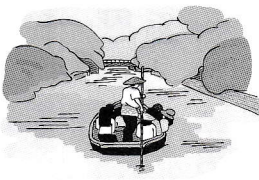
目の上のたんこぶはコロナ禍と物価高、それに言語道断なのがウクライナ侵攻です。こうした難題解決の鍵が微笑み、笑顔です。そこで今秋の研修旅行で、この笑顔を取り戻したいと念じ、目下旅程を詳細に練っているところです。

【方面】前号での二案を検討した結果、『林家たい平お勧めのパワースポットがある和同開珞の源』奥秩父方面』に決まりました。

【実行日】十月二十日&二十一日

【旅程】伊達桑折IC・花園IC・秩父そばの会の武藤屋本店・秩父の総鎮守秩父神社と夜祭りの興奮と感動が蘇る秩父まつり会館・秩父十四番札所今宮坊・店舗は国有形文化財の武甲正宗酒造・和銅鉾泉の湯の宿和どうで宿泊。翌日は通称『銭神様』の聖神社・昔の養蚕農家の暮らしを知る旧新井家住宅・多彩な彫刻装飾が施された寶登山神社・岩と山と川とが織り成す長瀬岩畳・おつきりこみの長瀬屋・道の駅はなぞの・花園IC・伊達桑折ICそしてご自宅。

【経費】四万五千円以内



なお、これらの課題が依然として解決していないため、旅行実施最終判断を九月中旬に致します。
☆八島喜一・古宮睦男・亀岡和美

五七五クラブ

俳句

みちのくの昔を語る蓮の花
花の香にさそわれ廻るラベンダー
【国見方部】中村 洋平

カップルの後ろで祝う夏花壇
カンナ咲く今年の花壇夢に見る
【霊山方部】丹治 睦雄

滝抱え一山景を定め得し
近づけば懐深し夏木立
【梁川方部】津村 栄

仕事辞め空の青さが目に染みる
ザリガニが近づく気配に身を隠す
丹治 睦雄

どうします伸びる余生の使い道
窓開ける戦火の匂い遠く嗅ぐ
津村 栄

認知症テストがまたもやって来る
暴走車怖くて今もマニュアル車
中村 洋平

大好きなバナラとチョコの
アイスクリーム分ち合ひての
八十路のふたり
津村 栄

初任地の分校務め複式の
教え子たちを今も夢見る
中村 洋平

初任地の分校務め複式の
教え子たちを今も夢見る
中村 洋平



十年目の変化

【伊達方面】鈴木 喜三郎



退職を退いた後の九年間は市の福祉相談係で勤務して

した。退職後は以前の夢を実行に移し、畑作への挑戦やカメラ片手のドライブ、トレッキングでまだ見ぬ景色や食べ物に出会うなど、今までの教育や福祉から真逆の生活。多くの会員が子どものために教育・福祉に精力的に携わっている中でお叱りを受けるような生活の変化です。昨年までの九年は実にやりがいのある充実した仕事でしたが、実は、問題のある家庭への対応相談で、心身共に疲れ果てた自分に戸惑ってしまいました。今、温泉宿で生ビールを飲みながら、笑顔で当地の自然や史跡などの話題で和んでいます。そして心がりフレッシュ、充電完了に近いのでしょうか、たまにですが教育相談等の対応依頼を受けるなど、自分の変化に驚いています。

十年目の近況

【桑折方面】高橋 徹



桑折駅前開設した障がい者の就労支援施設「輪楽創（わ

らつく）」は、八年目に入りました。今年の四月、伊達支援学校が開校しました。今後は関係機関の一つとして関係を深めていきます。

私は七十歳になりましたが、輪楽創に通う利用者（障がい者）と毎日、農作業をしています。金曜日は食堂でそばを打っています。利用者は農作業以外に織物や食堂での調理手伝いなど作業をします。そこで得た収益を工賃として利用者へ支給します。これがなかなか大変で、少しでも多くの工賃をあげたいと、作業の内容を工夫しています。収益が思うように伸びず、物を作って売って利益を出すことの難しさをしみじみ感じています。世の中の仕組みも分かり、いい社会勉強です。教師のプロから福祉のプロを目指しています。



晴耕雨読時々外出

【梁川方面】岡崎 忠昭



時の経つのが本当に早くあつという間に退職十年目を迎えてしまいました。

現在は、長い間ほったらかしにしておいた田畑を手入れして少しばかりですが家庭菜園を始めます。うまくいかないことの方が多のですがその分虫食いの野菜でも収穫できた時の喜びが大きくおいしくいただいています。



また、雨天時にはため込んだ本の整理を始めましたが、読み返すことの方が多く全く進みません。それどころか関連する本を読みたくなって買い求めたりして増える一方です。自分でもあきれるばかりです。

コロナ禍ということもあり、社会的に孤立する高齢者になりつつありますが、時折子供たちの勉強を手伝う機会があり、「教養がある」日を楽しんでいます。

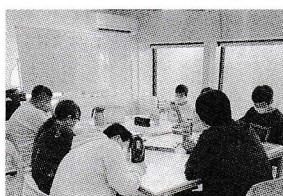
私のチャレンジ

【保原北方部】荒 哲也

今年六月一日から保原に自立支援塾「ゆいまーる」が開設されました。対象は小中高校生で内容は

- ① 学習支援（興味関心を喚起する課題提示、宿題、試験勉強資格取得のサポート等）
- ② ソーシャルスキルトレーニング（集団生活での過ごし方、意思の伝え方、認知力、想像力、実行機能のトレーニング等）
- ③ 個別療育（一対一での支援）
- ④ 集団療育（工作、料理、実験、ゲーム、農業体験、社会見学等）
- ⑤ 保護者との相談、講演活動等を柱とし、単なる預かりではなく明確な療育目標のもと、様々なハルデイを抱えている児童生徒の自立を促す特色ある支援塾です。

オーナーは医学修士、教育学博士の学位を持ったスペシャリストです。また、代表者は県立特別支援学校長を務められた方で、いずれも優れた知見と情熱あふれる素晴らしい方々です。私も微力ながら学習支援に参加しております。現在、問い合わせや利用者も少しずつ増えつつありますが、市内の小中学校、関係機関等と連携を図りながら、内容の充実と利用者の拡大をめざして努力をしています。



学校現場から

今、求められているもの

伊達市立掛田小学校長

渡邊 かわり

令和三年度の大石小学校統合に続き、来年度に石田小学校統合が決まり、掛田小学校も新たなステージに進もうとしています。本校に求められる教育を教職員・児童・保護者・地域とともに考え、教育活動に取り組んでいます。

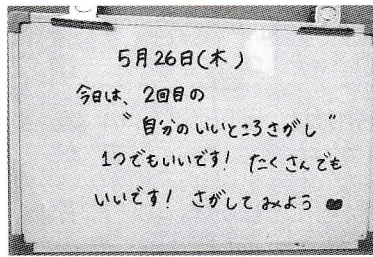
故郷が大好きで誇りに思う児童を育成する「ふるさと学習」。今年度は、地域産業である養蚕や稲作の自然体験、水をテーマにした環境保全の調査や発信・鮭の放流、霊山太鼓や獅子舞・濫觴の舞といった伝統文化の体験を行っています。地域の皆様が喜んで講師



小中学校合同霊山登山

を務めてくださり、おかげで児童は故郷を知り、自分ができることを考える自己課題解決にとことん取り組むことができています。

震災や感染症の流行などから児童の心を守る「心を育む教育」。ふくしま心のケアセンターへと提携し、自分の良さや心の感じ方、違いなどを学ぶ心の授業とともに、自分のいいところ探しを毎日行い、自分と向き合う時間を確保しています。さらに「お子さんを誉めていきますか？」をテーマにPTA教養講座を開催し、児童の心への寄り添い方を学びました。



自分のいいところさがし

霊山地区としての学びの継続を図る「幼小・小中交流」。霊山地区全ての小学生と中学一年生で登山を行い、故郷への思いをともにします。また、異校種交流では見学でなく体験による学びを大切にしようとして、子どもの活動交流、教員の指導交流も行っています。これからも、本校に求められる教育を見極め、歩み続けます。

事務局だよ

退職校長会伊達支部は七名の新入会員を迎え一六名で令和四年度をスタートしました。支部総会は新型コロナウイルス

令和4年度 退職校長会伊達支部役員

理事	県評議員	クラブ世話人			編集委員			幹事			方 部 委 員					監事	副支部長	支部長	顧問	役職							
		旅行	囲碁	俳句	委員	委員	副委員長	委員長	会計	庶務	月舘	霊山	保原南	保原北	梁川						国見	伊達	桑折				
渡辺 勝則	佐藤 忠夫	蓬田 吉穂	古宮 睦男	八島 喜一	荒 哲也	津村 栄	蓬田 吉穂	齋藤 徹雄	浅野テロ子	丹治 睦雄	鈴木喜三郎	高橋 孝	矢舘 実也	中野 茂	浅野テロ子	原田 徳好	渡辺 勝則	穴戸 正幸	高橋 徹	酒井 方子	齋藤 徹雄	蓬田 吉穂	渡辺 勝則	佐藤 忠夫	古宮 睦男	石岡 恒憲	大槻 太

感染状況により昨年に引き続き書面総会となりました。役員組織は方部役員会での了承を得て上記の様になっています。今年度も古宮支部長を中心にコロナ禍の実態に応じた「今できる取組」を推進して参りますので会員の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

今年度の事業は配付済の総会要項のとおりです。特に社会貢献活動として登下校時の児童生徒に対する挨拶・交通指導を推進しております。霊山方部の取組が県会報で紹介されました。皆様の地区でも都合に応じてお取り組みください。

あとがき



四回目のコロナワクチン接種の連絡が来た。三回目引き続きモデルナ接種となったが、私はどちらかというとファイザーよりモデルナの方が体質的にあっているようだ。前回は、発熱もなく翌朝もいたって元気であった。

コロナウイルスも変異に変異を重ね、現在はオミクロン株由来の変異種BA・5が主流だそう。人間に對抗し生き延びるためにコロナウイルスも自己変革に必死なようだ。早く停戦会議が開かれ、この戦いにピリオドが打たれることを願いたい。

(M・T)